

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市足柄財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市足柄財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市足柄財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市足柄財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市足柄財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

足柄財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市足柄財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (足柄)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減		
			構成比		構成比		増減率	
予算現額	A	35,000,000	—	36,785,000	—	△ 1,785,000	△ 4.9	
歳 入	調定額	B	30,528,556	—	36,762,770	—	△ 6,234,214	△ 17.0
	収入済額	C	30,528,556	100.0	36,762,770	100.0	△ 6,234,214	△ 17.0
	県支出金		0	0.0	4,013,000	10.9	△ 4,013,000	△ 100.0
	市支出金		0	0.0	0	0.0	0	—
	財産収入		7,969,982	26.1	11,610,017	31.6	△ 3,640,035	△ 31.4
	繰越金		22,558,574	73.9	21,139,753	57.5	1,418,821	6.7
	諸収入		0	0.0	0	0.0	0	—
	収入未済額	B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率	C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額	D	8,939,597	100.0	14,204,196	100.0	△ 5,264,599	△ 37.1
	議会費		1,619,088	18.1	2,382,878	16.8	△ 763,790	△ 32.1
	総務費		7,320,509	81.9	11,821,318	83.2	△ 4,500,809	△ 38.1
	予備費		0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額		0	—	0	—	0	—
	不用額	A-D	26,060,403	—	22,580,804	—	3,479,599	15.4
	執行率	D/A	25.5	—	38.6	—	—	—
歳入歳出差引額	C-D	21,588,959	—	22,558,574	—	△ 969,615	△ 4.3	

歳入決算額(収入済額)は30,528,556円、歳出決算額(支出済額)は8,939,597円で、歳入歳出差引額は21,588,959円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は6,234,214円、支出済額は5,264,599円それぞれ減少している。

歳入決算額から繰越金22,558,574円、歳出決算額から積立金2,000,000円を控除して算出した実質単年度収支は1,030,385円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は130,600,000円で、前年度に比べ2,000,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	2,000,000 円	122,600,000 円
平成26年度	2,000,000 円	124,600,000 円
平成27年度	2,000,000 円	126,600,000 円
平成28年度	2,000,000 円	128,600,000 円
平成29年度	2,000,000 円	130,600,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市大窪財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市大窪財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市大窪財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市大窪財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市大窪財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

大窪財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市大窪財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (大窪)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		1,600,000	—	2,082,000	—	△ 482,000	△ 23.2
歳 入	調定額 B	1,667,290	—	1,891,430	—	△ 224,140	△ 11.9
	収入済額 C	1,667,290	100.0	1,891,430	100.0	△ 224,140	△ 11.9
	県支出金	63,000	3.8	63,000	3.3	0	0.0
	市支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
	財産収入	254,325	15.2	568,530	30.1	△ 314,205	△ 55.3
	繰越金	1,349,965	81.0	1,259,900	66.6	90,065	7.1
	諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
収入率 C/B		100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	480,003	100.0	541,465	100.0	△ 61,462	△ 11.4
	議会費	223,476	46.6	229,494	42.4	△ 6,018	△ 2.6
	総務費	256,527	53.4	311,971	57.6	△ 55,444	△ 17.8
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	1,119,997	—	1,540,535	—	△ 420,538	△ 27.3
	執行率 D/A	30.0	—	26.0	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D		1,187,287	—	1,349,965	—	△ 162,678	△ 12.1

歳入決算額(収入済額)は1,667,290円、歳出決算額(支出済額)は480,003円であり、歳入歳出差引額1,187,287円は翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は224,140円、支出済額は61,462円それぞれ減少している。

歳入決算額から繰越金1,349,965円を控除して算出した実質単年度収支は162,678円の赤字となっている。

なお、財政調整基金の当年度末における現在高は68,200,000円で、前年度末からの増減はなかった。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市早川財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市早川財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市早川財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市早川財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市早川財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

早川財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市早川財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出とも適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (早川)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		1,383,000	—	1,439,000	—	△ 56,000	△ 3.9
歳 入	調定額 B	1,373,104	—	1,443,640	—	△ 70,536	△ 4.9
	収入済額 C	1,373,104	100.0	1,443,640	100.0	△ 70,536	△ 4.9
	県支出金	14,000	1.0	21,000	1.5	△ 7,000	△ 33.3
	財産収入	115,664	8.4	137,710	9.5	△ 22,046	△ 16.0
	繰越金	1,243,440	90.6	1,284,930	89.0	△ 41,490	△ 3.2
	諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	154,200	100.0	200,200	100.0	△ 46,000	△ 23.0
	議会費	144,200	93.5	180,200	90.0	△ 36,000	△ 20.0
	総務費	10,000	6.5	20,000	10.0	△ 10,000	△ 50.0
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	1,228,800	—	1,238,800	—	△ 10,000	△ 0.8
	執行率 D/A	11.1	—	13.9	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D	1,218,904	—	1,243,440	—	△ 24,536	△ 2.0	

歳入決算額（収入済額）は1,373,104円、歳出決算額（支出済額）は154,200円で、歳入歳出差引額は1,218,904円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は70,536円、支出済額は46,000円それぞれ減少している。

歳入決算額から繰越金1,243,440円を控除して算出した実質単年度収支は24,536円の赤字となっている。

なお、財政調整基金の当年度末における現在高は27,800,000円で、前年度末からの増減はなかった。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市下府中財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市下府中財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市下府中財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市下府中財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市下府中財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

下府中財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市下府中財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (下府中)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		5,686,000	—	8,782,000	—	△ 3,096,000	△ 35.3
歳 入	調定額 B	6,184,636	—	8,362,655	—	△ 2,178,019	△ 26.0
	収入済額 C	6,184,636	100.0	8,362,655	100.0	△ 2,178,019	△ 26.0
	県支出金	0	0.0	873,000	10.4	△ 873,000	△ 100.0
	財産収入	2,803,450	45.3	4,248,441	50.8	△ 1,444,991	△ 34.0
	繰越金	3,364,260	54.4	3,167,956	37.9	196,304	6.2
	諸収入	16,926	0.3	73,258	0.9	△ 56,332	△ 76.9
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	3,225,844	100.0	4,998,395	100.0	△ 1,772,551	△ 35.5
	議会費	404,116	12.5	310,658	6.2	93,458	30.1
	総務費	2,821,728	87.5	4,687,737	93.8	△ 1,866,009	△ 39.8
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	2,460,156	—	3,783,605	—	△ 1,323,449	△ 35.0
	執行率 D/A	56.7	—	56.9	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D	2,958,792	—	3,364,260	—	△ 405,468	△ 12.1	

歳入決算額(収入済額)は6,184,636円、歳出決算額(支出済額)は3,225,844円で、歳入歳出差引額は2,958,792円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は2,178,019円、支出済額は1,772,551円それぞれ減少している。

歳入決算額から繰越金3,364,260円、歳出決算額から積立金2,000,000円を控除して算出した実質単年度収支は1,594,532円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は49,400,000円で、前年度に比べ2,000,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	1,000,000 円	42,400,000 円
平成26年度	1,000,000 円	43,400,000 円
平成27年度	2,000,000 円	45,400,000 円
平成28年度	2,000,000 円	47,400,000 円
平成29年度	2,000,000 円	49,400,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市桜井財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市桜井財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市桜井財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市桜井財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市桜井財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

桜井財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市桜井財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (桜井)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		3,950,000	—	3,965,000	—	△ 15,000	△ 0.4
歳 入	調定額 B	3,993,765	—	4,110,193	—	△ 116,428	△ 2.8
	収入済額 C	3,993,765	100.0	4,110,193	100.0	△ 116,428	△ 2.8
	財産収入	843,805	21.1	1,776,360	43.2	△ 932,555	△ 52.5
	繰越金	3,149,960	78.9	2,333,833	56.8	816,127	35.0
	諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	1,015,285	100.0	960,233	100.0	55,052	5.7
	議会費	393,466	38.8	491,514	51.2	△ 98,048	△ 19.9
	総務費	621,819	61.2	468,719	48.8	153,100	32.7
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	2,934,715	—	3,004,767	—	△ 70,052	△ 2.3
	執行率 D/A	25.7	—	24.2	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D		2,978,480	—	3,149,960	—	△ 171,480	△ 5.4

歳入決算額(収入済額)は3,993,765円、歳出決算額(支出済額)は1,015,285円で、歳入歳出差引額は2,978,480円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は116,428円減少し、支出済額は55,052円増加している。

歳入決算額から繰越金3,149,960円、歳出決算額から積立金300,000円を控除して算出した実質単年度収支は128,520円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は51,650,000円で、前年度末に比べ300,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	0 円	50,750,000 円
平成26年度	0 円	50,750,000 円
平成27年度	300,000 円	51,050,000 円
平成28年度	300,000 円	51,350,000 円
平成29年度	300,000 円	51,650,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市豊川財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市豊川財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市豊川財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市豊川財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市豊川財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

豊川財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市豊川財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (豊川)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		8,920,000	—	14,200,000	—	△ 5,280,000	△ 37.2
歳 入	調定額 B	8,518,884	—	12,474,009	—	△ 3,955,125	△ 31.7
	収入済額 C	8,518,884	100.0	12,474,009	100.0	△ 3,955,125	△ 31.7
	県支出金	0	0.0	1,566,000	12.6	△ 1,566,000	△ 100.0
	市支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
	財産収入	1,573,567	18.5	3,847,834	30.8	△ 2,274,267	△ 59.1
	繰入金	0	0.0	4,000,000	32.0	△ 4,000,000	△ 100.0
	繰越金	6,945,317	81.5	2,588,972	20.8	4,356,345	168.3
	諸収入	0	0.0	471,203	3.8	△ 471,203	△ 100.0
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	6,194,942	100.0	5,528,692	100.0	666,250	12.1
	議会費	446,305	7.2	799,874	14.5	△ 353,569	△ 44.2
	総務費	5,748,637	92.8	4,728,818	85.5	1,019,819	21.6
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	2,725,058	—	8,671,308	—	△ 5,946,250	△ 68.6
	執行率 D/A	69.5	—	38.9	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D	2,323,942	—	6,945,317	—	△ 4,621,375	△ 66.5	

歳入決算額（収入済額）は8,518,884円、歳出決算額（支出済額）は6,194,942円で、歳入歳出差引額は2,323,942円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は3,955,125円減少し、支出済額は666,250円増加している。

歳入決算額から繰越金6,945,317円、歳出決算額から積立金5,000,000円を控除して算出した実質単年度収支は378,625円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は87,000,000円で、前年度に比べ5,000,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年 度 末 現 在 高
平成25年度	800,000 円	83,500,000 円
平成26年度	500,000 円	84,000,000 円
平成27年度	0 円	84,000,000 円
平成28年度	△ 2,000,000 円	82,000,000 円
平成29年度	5,000,000 円	87,000,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

※平成28年度は、取り崩し4,000,000円、積立金2,000,000円で2,000,000円の減。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市上府中財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市上府中財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市上府中財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市上府中財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市上府中財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

上府中財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市上府中財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (上府中)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減		
			構成比		構成比		増減率	
予算現額	A	10,320,000	—	4,430,000	—	5,890,000	133.0	
歳入	調定額	B	4,410,972	—	4,430,588	△ 19,616	△ 0.4	
	収入済額	C	4,410,972	100.0	4,430,588	△ 19,616	△ 0.4	
	県支出金		0	0.0	0	0	—	
	市支出金		0	0.0	0	0	—	
	財産収入		2,701,280	61.2	2,728,393	△ 27,113	△ 1.0	
	繰越金		1,709,692	38.8	1,702,195	7,497	0.4	
	諸収入		0	0.0	0	0	—	
	収入未済額	B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率	C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳出	支出済額	D	1,558,260	100.0	2,720,896	△ 1,162,636	△ 42.7	
	議会費		326,138	20.9	646,068	△ 319,930	△ 49.5	
	総務費		1,232,122	79.1	2,074,828	△ 842,706	△ 40.6	
	予備費		0	0.0	0	0	—	
	翌年度繰越額		0	—	0	0	—	
	不用額	A-D	8,761,740	—	1,709,104	7,052,636	412.7	
	執行率	D/A	15.1	—	61.4	—	—	
歳入歳出差引額	C-D	2,852,712	—	1,709,692	—	1,143,020	66.9	

歳入決算額（収入済額）は4,410,972円、歳出決算額（支出済額）は1,558,260円で、歳入歳出差引額は2,852,712円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は19,616円、支出済額は1,162,636円それぞれ減少している。

歳入決算額から繰越金1,709,692円、歳出決算額から積立金500,000円を控除して算出した実質単年度収支は1,643,020円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は40,000,000円で、前年度に比べ500,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	1,000,000 円	34,500,000 円
平成26年度	1,000,000 円	35,500,000 円
平成27年度	2,500,000 円	38,000,000 円
平成28年度	1,500,000 円	39,500,000 円
平成29年度	500,000 円	40,000,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市酒匂財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市酒匂財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市酒匂財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市酒匂財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市酒匂財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

酒匂財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市酒匂財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (酒匂)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		3,167,000	—	3,159,000	—	8,000	0.3
歳 入	調定額 B	3,138,183	—	3,175,594	—	△ 37,411	△ 1.2
	収入済額 C	3,138,183	100.0	3,175,594	100.0	△ 37,411	△ 1.2
	財産収入	2,107,680	67.2	2,276,280	71.7	△ 168,600	△ 7.4
	繰越金	1,030,503	32.8	899,314	28.3	131,189	14.6
	諸収入	0	0.0	0	0.0	0	—
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	2,198,830	100.0	2,145,091	100.0	53,739	2.5
	議会費	288,830	13.1	507,896	23.7	△ 219,066	△ 43.1
	総務費	1,910,000	86.9	1,637,195	76.3	272,805	16.7
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	968,170	—	1,013,909	—	△ 45,739	△ 4.5
	執行率 D/A	69.4	—	67.9	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D		939,353	—	1,030,503	—	△ 91,150	△ 8.8

歳入決算額(収入済額)は3,138,183円、歳出決算額(支出済額)は2,198,830円で、歳入歳出差引額は939,353円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は37,411円減少し、支出済額は53,739円増加している。

歳入決算額から繰越金1,030,503円、歳出決算額から積立金1,600,000円を控除して算出した実質単年度収支は1,508,850円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は61,600,000円で、前年度に比べ1,600,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	2,300,000 円	55,800,000 円
平成26年度	1,300,000 円	57,100,000 円
平成27年度	1,600,000 円	58,700,000 円
平成28年度	1,300,000 円	60,000,000 円
平成29年度	1,600,000 円	61,600,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市片浦財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市片浦財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市片浦財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市片浦財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市片浦財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

片浦財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市片浦財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出ともおおむね適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (片浦)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		30,585,000	—	37,500,000	—	△ 6,915,000	△ 18.4
歳 入	調定額 B	36,753,226	—	39,802,775	—	△ 3,049,549	△ 7.7
	収入済額 C	36,753,226	100.0	39,802,775	100.0	△ 3,049,549	△ 7.7
	県支出金	5,230,000	14.3	8,290,000	20.8	△ 3,060,000	△ 36.9
	財産収入	14,895,677	40.5	15,200,259	38.2	△ 304,582	△ 2.0
	繰入金	0	0.0	10,000,000	25.1	△ 10,000,000	△ 100.0
	繰越金	16,327,549	44.4	6,274,166	15.8	10,053,383	160.2
	諸収入	300,000	0.8	38,350	0.1	261,650	682.3
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—	
歳 出	支出済額 D	20,955,095	100.0	23,475,226	100.0	△ 2,520,131	△ 10.7
	議会費	761,598	3.6	779,805	3.3	△ 18,207	△ 2.3
	総務費	20,193,497	96.4	22,695,421	96.7	△ 2,501,924	△ 11.0
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	9,629,905	—	14,024,774	—	△ 4,394,869	△ 31.3
	執行率 D/A	68.5	—	62.6	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D	15,798,131	—	16,327,549	—	△ 529,418	△ 3.2	

歳入決算額(収入済額)は36,753,226円、歳出決算額(支出済額)は20,955,095円で、歳入歳出差引額は15,798,131円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は3,049,549円、支出済額は2,520,131円それぞれ減少している。

歳入決算額から繰越金16,327,549円、歳出決算額から積立金2,000,000円を控除して算出した実質単年度収支は1,470,582円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は169,500,000円で、前年度に比べ2,000,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	1,500,000 円	174,500,000 円
平成26年度	1,000,000 円	175,500,000 円
平成27年度	0 円	175,500,000 円
平成28年度	△8,000,000 円	167,500,000 円
平成29年度	2,000,000 円	169,500,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。

※平成28年度は、取り崩し10,000,000円、積立金2,000,000円で8,000,000円の減。

監査第46号

平成30年11月28日

小田原市曾我財産区財産管理者

小田原市長 加藤 憲一 様

小田原市監査委員 岡 本 重 治

小田原市監査委員 数 馬 勝

小田原市監査委員 神 永 四 郎

平成29年度小田原市曾我財産区歳入歳出決算審査意見書の提出について

平成29年度小田原市曾我財産区歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、その結果に基づく意見書を次のとおり提出します。

平成29年度小田原市曾我財産区歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

(1) 小田原市曾我財産区歳入歳出決算

(2) 決算附属書類

曾我財産区歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

平成30年10月5日から同年11月27日まで

3 審査の方法

平成29年度小田原市曾我財産区歳入歳出決算書及び決算附属書類の審査に当たっては、歳入簿、歳出簿等により、決算計数の正確性を確認するとともに、例月現金出納検査の資料を基に、予算の適正な執行が行われたかどうかについても審査した。

4 審査の結果

歳入歳出決算書及び決算附属書類については、いずれも法令の定めるところに準拠して作成されており、かつ、決算計数は正確に表示されているものと認められた。

また、予算の執行については、歳入歳出とも適正であると認められた。

(1) 歳入歳出決算の状況 (曾我)

(単位:円・%)

区 分		平成29年度		平成28年度		比較増減	
			構成比		構成比		増減率
予算現額 A		1,670,000	—	1,580,000	—	90,000	5.7
歳 入	調定額 B	1,794,529	—	1,598,183	—	196,346	12.3
	収入済額 C	1,794,529	100.0	1,598,183	100.0	196,346	12.3
	財産収入	628,187	35.0	630,310	39.4	△ 2,123	△ 0.3
	繰越金	1,042,910	58.1	967,873	60.6	75,037	7.8
	諸収入	123,432	6.9	0	0.0	123,432	100.0
	収入未済額 B-C	0	—	0	—	0	—
	収入率 C/B	100.0	—	100.0	—	—	—
歳 出	支出済額 D	471,588	100.0	555,273	100.0	△ 83,685	△ 15.1
	議会費	197,400	41.9	222,013	40.0	△ 24,613	△ 11.1
	総務費	274,188	58.1	333,260	60.0	△ 59,072	△ 17.7
	予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
	翌年度繰越額	0	—	0	—	0	—
	不用額 A-D	1,198,412	—	1,024,727	—	173,685	16.9
	執行率 D/A	28.2	—	35.1	—	—	—
歳入歳出差引額 C-D	1,322,941	—	1,042,910	—	280,031	26.9	

歳入決算額(収入済額)は1,794,529円、歳出決算額(支出済額)は471,588円で、歳入歳出差引額は1,322,941円となり、翌年度に繰り越されている。決算額を前年度と比べると、収入済額は196,346円増加し、支出済額は83,685円減少している。

歳入決算額から繰越金1,042,910円、歳出決算額から積立金200,000円を控除して算出した実質単年度収支は480,031円の黒字となっている。

(2) 基金

財政調整基金の当年度末における現在高は3,200,000円で、前年度に比べ200,000円増加している。なお、基金残高の推移は次表のとおりである。

年 度	増 減 額	年度末現在高
平成25年度	0 円	2,600,000 円
平成26年度	0 円	2,600,000 円
平成27年度	200,000 円	2,800,000 円
平成28年度	200,000 円	3,000,000 円
平成29年度	200,000 円	3,200,000 円

※年度末現在高は、出納整理期間の増減を含まない3月31日現在である。